



令和 7 年度

浜田市地域おこし協力隊 活動報告書



令和 8 年 3 月
浜田市地域政策部定住関係人口推進課

令和 7 年度

浜田市地域おこし協力隊活動報告書 目次

協力隊 No 1	川北 朋	．．．．．	P 1
協力隊 No 2	芳川 守	．．．．．	P 2
協力隊 No 3	小川 直城	．．．．．	P 3
協力隊 No 4	竹中 久留美	．．．．．	P 4
協力隊 No 5	中村 勝幸	．．．．．	P 5
協力隊 No 6	鈴木 翔平	．．．．．	P 6
協力隊 No 7	脇本 晃成	．．．．．	P 7
協力隊 No 8	横井 健太	．．．．．	P 8
協力隊 No 9	西山 祐	．．．．．	P 9
協力隊 No10	水津 満共	．．．．．	P 10
協力隊 No11	穂阪 麻衣	．．．．．	P 11
協力隊 No12	上代 美帆	．．．．．	P 12
協力隊 No13	宮内 正勝	．．．．．	P 13
協力隊 No14	新川 大地	．．．．．	P 14
協力隊 No15	上野 尚也	．．．．．	P 15
協力隊 No16	酒井 基弘	．．．．．	P 16
協力隊 No17	上田 ななせ	．．．．．	P 17



令和 7 年度 浜田市地域おこし協力隊交流会の様子

浜田市地域おこし協力隊 No. 1



氏 名 川北 朋（かわきた とも）
 出 身 大阪府
 前住所 大阪府
 前 職 演奏家
 委嘱日 令和 5 年 4 月 1 日（3 年目）

協力隊のミッション

- ◆音楽を核としたまちづくり（若手音楽家の定住促進）
- ◆地域での音楽イベントや講習会、演奏会の運営
- ◆中学校、高等学校等吹奏楽部学生への指導

令和 7 年度の主な活動

- 指導者講習会の開催
- ハイブリッドウインドオーケストラの公演、依頼演奏への出演
- ハイブリッドウインドオーケストラの広報、企画活動
- ソロコンサートの開催
- 指揮者として学生との演奏
- 市内各学校吹奏楽部への指導
- 学生のソロ発表会の開催



今後・任期終了後の目標

今年度末をもって、協力隊の任期満了となります。

今後は、地元に戻る予定ですが、これまでの協力隊としての活動を活かし、指導者・演奏家としてこの地域に関わり続ける、関係人口としての活動ができたと思います。

浜田市地域おこし協力隊 No. 2



氏 名 芳川 守（よしかわ まもる）
出 身 島根県
前住所 岡山県
前 職 不動産会社
委嘱日 令和 5 年 8 月 1 日（3 年目）

協力隊のミッション

◆旭町和田地区における農村 RM0 形成推進事業関係業務

- 農用地保全…残す農地の承継や耕作放棄地の活用など
- 地域資源活用…空き家の利活用、石見神楽承継など
- 生活支援…高齢者の生活支援など

令和 7 年度の主な活動

◆農用地保全

- 水稲承継…今年度耕作を辞める田を新たに 1 反増やし計 3 反耕作しました。（岡山で美味しいと好評）
- 自己保全農地（草刈りのみ）を借りてにんにく栽培を実証実験中です。



◆地域資源活用

- 空き家を利用し田舎体験場実施（しまね田舎ツーリズム掲載）
- 空き店舗を利用し地域の交流場「よりみち西広」オープン
- 戸川社中にて例大祭で石見神楽奉納（神迎、大江山）



◆生活支援

- ハチの巣駆除、草刈り

◆その他

- 空き家相談、管理（墓地含む）、仲介、集落案内作成
- 「にんにく醤油」アピール
- 自治会活動（草刈りや宮掃除、盆踊り、新年会、など）
- まちセンイベント参加（料理教室、各交流会、会議など）



今後・任期終了後の目標

任期終了後は、中山間地を中心とした「空き家問題」に取り組みたいと思います。そのために不動産会社を設立し、通常対応できない不動産を含め、「地域」「入居者」「所有者」の三方良しの仕組みに挑戦したいと思います。また二地域居住を前提とした「地域出身者」の関わり方の模索も行いたいと考えています。暮らしでは、米作りの技術を磨き、にんにくの本格栽培と地域の子育て世代との「焚き火会」を活性化し、子育て世代と「故郷の楽しい」を子供たちに伝える活動にも、来年度任命された自治会長の役とともに挑戦して行きたいです。

浜田市地域おこし協力隊 No. 3



氏 名 小川 直城（おがわ なおき）
出 身 愛知県
前住所 岐阜県
前 職 会社員
委嘱日 令和 5 年 8 月 1 日（3 年目）

協力隊のミッション

◆郷土資料整理事業

- 市民の方々が閲覧できるよう、市内図書館に保管されている未整理文書（古文書や行政文書）の目録作成、資料の読解等による整備
- 郷土資料を活用した地域活性化

令和 7 年度の主な活動

◆資料整理業務

- 4 月～ 7 月：石見村文書整理
（現在の黒川・相生・浅井・長沢の一部）
- 8 月～10 月：上府村文書整理（現在の上府地域）
- 10 月：濱田県庁文書整理
- 11 月～ 2 月：國分・國府村文書整理
（現：国分・久代・波子・敬川の一部）



また、これまでに整理した行政文書の目録作成を行いました。

◆その他の活動

- 6 月：市内視察（島村抱月ゆかりの地及び有福地域）
- 9 月：中国地方協力隊研修会
- 10 月：浜田高校通信制一地域巡検
（駅前商店街～万灯山公園）
- 1 月：浜田市地域おこし協力隊交流会



今後・任期終了後の目標

今年度は、調査資料の分類整理を進め、公開に向け閲覧可否の確認を行いました。特に石見や国府の地区は資料数や時代の幅が広いため、地域や時代に留意して整理を行いました。

また、私は今年度をもって協力隊の任期を終了します。整理記録を引継ぐとともに、今後も地域の一員として郷土文化や資料活用に関心度向上に貢献していきたいと思います。



氏 名 竹中 久留美（たけなか くるみ）
出 身 東京都
前住所 埼玉県
前 職 教員（哲学、ロジカルシンキング）
委嘱日 令和 5 年 9 月 1 日（3 年目）

協力隊のミッション

◆郷土資料整理事業

- 市民の方々が閲覧できるよう、市内図書館に保管されている未整理文書（古文書や行政文書）の目録作成、資料の読解等による整備
- 郷土資料を活用した地域活性化

令和 7 年度の主な活動

岡本俊人寄贈文書、大島幾太郎寄贈文書及び那賀郡文書のデータ化並びに補修・保管状態の改善などを行いました。上記 3 つの文書だけでも 3,700 点余りと保管点数が比較的多かった（うち岡本文書は 2,056 点、作業期間 R6.8～R7.7）ため、作業にかなりの時間を要しました。

また、劣化の進んだ文書も多く、その修復が困難でした。しかし、文書が物理的に残れば、内容も必然的に残るため、文書の内容以上に、現時点では文書を「物理的に残すこと」が作業の優先順位として高いと考えます。

文書の二つ折り

文書の「二つ折り」といったごくありふれた作業の中に、文書の激しい劣化を招く行為が潜んでいます。紙質の良し悪しもありますが、欠損した箇所に書かれていたものは、修復できません。将来、こういった欠損があっても、AI 等によって修復できるようになれば…と思います。

文書の劣化 の実例



私は、協力隊活動の中で、歴史は「担い手」によって維持されることを体感しました。「担い手」が適切な作業をしないと、歴史は完全に消滅してしまいます。歴史は放っておいて残るものではなく、その存在はそれ自身で保つことのできない、きわめて危ういものです。

今後・任期終了後の目標

浜田市だけでなく、石見地域は大変魅力ある地域です。しかし、特に観光に関連する事物(モノ)に改善点が多い気がします。それらを改善する提案・企画をし、観光客が訪れる地域にしたいと考えています。

浜田市地域おこし協力隊 No. 5



氏 名 中村 勝幸（なかむら かつゆき）
出 身 島根県
前住所 広島県
前 職 調理師
委嘱日 令和 7 年 2 月 1 日（2 年目）

協力隊のミッション

- ◆金城カントリークラブにおける、レストランでの地域食材及び企業との連携を目的としたメニュー考案による集客増
- ◆宿泊施設や観光施設間の連携強化を図り、体験と食について「地域でもてなす」体制の構築

令和 7 年度の主な活動

◆地域食材を使用したメニュー考案

バトウフライ、アジフライ、イカ丼（浜田産）、
ポークカツレツ（金城町産豚）、ピオーネゼリー
（金城町産ピオーネ）を新規改良し、提供しました。
添え物の野菜は地元野菜を使用しています。



◆ビュッフェ形式による昼食の提供（2 回実施）

品数：30 品

価格：1,800 円（税込）

人数：150～200 名

事前に告知を行い、終了後に SNS で情報発信しました。



◆女性限定コンペでの限定メニューの提供（3 回実施）

フレンチを中心とした和食との折衷料理で、SNS 映えを意識した盛り付けやメニューを考え少量で品数を増やし、
ワンプレートで提供しました。



今後・任期終了後の目標

現在の職場において、若い人材が入ってきやすい職場づくりや人材育成が必要と考えています。

また、ミッションの 1 つである宿泊施設と観光施設間の連携強化について、令和 8 年度から本格的に活動していきます。

浜田市地域おこし協力隊 No. 6



氏 名 鈴木 翔平（すずき しょうへい）
出 身 茨城県
前住所 茨城県
前 職 サッカークラブコーチ
委嘱日 令和 6 年 3 月 1 日（3 年目）

協力隊のミッション

- ◆スポーツ交流の場の創出
- ◆中学校～高等学校の部活動指導
- ◆地域イベントの開催、参画

令和 7 年度の主な活動

◆浜田高校サッカー部の外部指導・地域育成支援

基礎技術の向上と個人課題へのアプローチ、継続的な技術取得のサポートを行いました。

また、部員数の減少に伴い、活動形態を工夫し、継続して競技に取り組める体制づくりを支援しました。



◆放課後等デイサービス、サッカー教室の開催

運動機会の提供と社会性の育成を目的とした運動教室、サッカー教室を実施しました。



ボールなどを使い、身体能力とコミュニケーションの向上を支援し、参加者の発達段階に応じて活動内容を調整することで、成功体験を積み重ねられる環境づくりを行いました。地域における継続的な運動機会の確保に繋がりました。



今後・任期終了後の目標

これまでのサッカー指導者としてのスキルを活かしつつ、J F L の舞台での指導に携わるコーチへ成長したいと考えています。

また、育成年代の指導をつうじ、地域から羽ばたく次世代の選手育成に貢献していきたいです。

浜田市地域おこし協力隊 No. 7



氏 名 脇本 晃成（わきもと こうせい）
出 身 広島県
前住所 富山県
前 職 プロサッカー選手
委嘱日 令和 7 年 3 月 1 日（2 年目）

協力隊のミッション

- ◆スポーツを通じた地域活性化
- ◆子どもから高齢者まで幅広い世代への健康促進、交流機会の創出
- ◆子どもへの夢事業の実施

令和 7 年度の主な活動

◆園児向け運動教室の実施

市内保育園等を巡回し、基礎的な運動能力の向上と体を動かす楽しさを伝える活動を行いました。

◆リハビリテーションカレッジ島根における体育授業の実施

スポーツ実技を通じて、体力向上及び運動習慣を定着させ、学生のリハビリテーション技術の向上を図りました。



◆夢授業の実施

プロサッカー選手であった自身の経験をもとに、子どもたちに夢や目標を持つこと、努力を続けることの大切さを伝えるためのキャリア教育を実施しました。



◆F A サッカースクールの指導

サッカー技術の向上に加え、礼儀や協調性などの人間力の育成を目的とした育成活動を行いました。

◆地域イベントへの参加

今後・任期終了後の目標

引き続き地域に関わりながら、スポーツを通じた社会貢献活動を継続し、次世代を担う子どもや若者の育成、ならびに地域スポーツの発展に貢献していきます。

また、令和 8 年度は市内小学校との連携をより深め、夢授業の展開を図っていきたいと考えています。



氏 名 横井 健太（よこい けんた）
 出 身 東京都
 前住所 埼玉県
 前 職 リバティスポーツクラブ
 委嘱日 令和 7 年 3 月 1 日（2 年目）

協力隊のミッション

- ◆スポーツを通じた地域活性化
- ◆子どもの運動能力向上を目的とした運動教室の実施

令和 7 年度の主な活動

◆小学生運動教室（石見小学校）

小学生の運動能力向上を目的とした、小学生を対象とした運動教室を令和 7 年度から石見小学校で実施しています。少しずつ参加者も増えてきています。



◆浜田高校・浜田第三中学校 G K 指導

自身のゴールキーパースキルを活かし、中学生と高校生のゴールキーパー育成のため活動をしています。基礎の技術や細かい動き等を中心に指導しています。



◆保育園巡回指導

保育園を訪問し、幼児世代の運動能力向上を目的に活動しています。ボールを使ったボール遊びやステップワークなどを楽しく行っています。



今後・任期終了後の目標

今年度僕が行った活動を来年度も継続し、より良い活動にしていこうと思います。

また、今の時代子どもの運動能力の低下や、運動をする場所が減っていることから、子供達が楽しくのびのびと体を動かせる環境作りをしていきたいと考えています。

ゴールキーパー指導については、自分の得意分野のため、これまでの経験を活かして多くの子どもにゴールキーパーの楽しさ、挑戦することの大切さを教えていきたいと思っています。

浜田市地域おこし協力隊 No. 9



氏 名 西山 祐（にしま ゆう）
出 身 兵庫県
前住所 兵庫県
前 職 大学生
委嘱日 令和 7 年 4 月 1 日（1 年目）

協力隊のミッション

◆フリーミッション型の地域おこし協力隊として、次のミッションを企画提案し、活動を実施

○浜田市の産業・自然・文化を体験できる観光プランの企画

○特産品を使用した商品の開発

令和 7 年度の主な活動

◆体験を受け入れてくれる事業者の掘り起こし

協力隊のミッション内容、体験プランの概要等を説明し、協力して下さる事業者の掘り起こしを、金城町を中心に行いました。

金城町では、農作業体験や果物の収穫体験、特産品を使用したパン作り体験などの受入れをお願いしました。



◆上記事業者でのモニター体験

金城町での栗拾い体験、イチゴ収穫体験、サツマイモ収穫体験、落花生収穫体験などを、知人や県立大学生に協力してもらい、体験とフィードバックをしました。



◆金城町の特産品を使用したクラフトビールの開発

株式会社ケイ・エフ・ジーの水「金城の華」と、金城町今福産シャインマスカットを使用し、石見麦酒協力のもとクラフトビールを開発し、販売を行いました。



今後・任期終了後の目標

来年度は、今年度掘り起こした事業者の体験プランの提供を進めると、金城町に限らず、幅広い事業者との関係をつくることが目標です。

新商品の開発については、大学生や高校生と関わりながら進めていきたいと思っています。作った商品の売り上げを伸ばし、継続して販売していきたいと考えています。

浜田市地域おこし協力隊 No.10



氏 名 水津 満共（すいづ みつたか）
出 身 島根県
前住所 大阪県
前 職 青果店（継続中）
委嘱日 令和 7 年 4 月 1 日（1 年目）

協力隊のミッション

◆有機農業研修生

○清水康彦氏のもとで有機農業に関する研修を受け、弥栄町門田集落内の水田維持及び継承を行う。

○販路の拡大（ブランディング）

令和 7 年度の主な活動

まずは、有機米の生産を学ぶことから始まりました。そのため、生産の記録は逐一とり、年間を通じた作業工程等を覚えることができました。

また、自身の経歴を活かし、有機米の販売のためのマーケティングやブランディング、企画を考えました。

併せて、浜田市の有機栽培講習会に参加し、知見を深めるとともに、有機野菜生産者と交流をしました。

また、門田集落の行事は積極的に参加し、地域の方とのつながりを深めるよう心がけています。



今後・任期終了後の目標

私は、大阪で FARMAN KITCHIN MARKET という青果店の代表を行いつつ、令和 7 年度から浜田市に移住し、生産と販売を両立していきました。

任期後の目標は、その販売ノウハウを活用し、有機米の販路をより拡大するため、自ら価値設定をして、発信・販売を行い、そんな地域に住みたい、そんな企業に働きたいといった、第一次産業の販売を通じて人が集まる取組を行っていきたいと考えています。そうした取組が、担い手を繋いでいくと考えています。

浜田市地域おこし協力隊 No.11



氏 名 穂阪 麻衣（ほさか まい）
出 身 大阪府
前住所 大阪府
前 職 青果店（継続中）
委嘱日 令和 7 年 4 月 1 日（1 年目）

協力隊のミッション

◆有機農業研修生

○清水康彦氏のもとで有機農業に関する研修を受け、弥栄町門田集落内の水田維持及び継承を行う。

○販路の拡大（ブランディング）

令和 7 年度の主な活動

同時期に協力隊員として委嘱された水津さんと共に、弥栄町門田の清水さんのもとで、有機米の生産について学びを深めています。

1 年をとおして、有機米の生産から、販売のためのマーケティング・ブランディング及び企画等を行いました。

また、各種講習会への参加、地域行事の参加も積極的に行いました。



今後・任期終了後の目標

任期満了後の目標は、木魂米のブランド価値の向上に取り組み、まずは集落全体の地域活性を目指します。

私たちの取組によって、“農業ってカッコいい”と同世代・次世代の方々に思ってもらえるモデルになれるよう、活動を続けていきたいと思います。



氏 名 上代 美帆（じょうだい みほ）
出 身 島根県
前住所 島根県
前 職 会社員
委嘱日 令和 7 年 5 月 1 日（1 年目）

協力隊のミッション

- ◆美又共存同栄ハウスの運営
- ◆美又の地域資源発掘に向けたイベント開催や商品プロモーション
- ◆美又まちづくり委員会、自治会活動への参加

令和 7 年度の主な活動

◆「ここに来ればみんなに会える」場づくり

「美又共存同栄ハウス」は、地域から長く愛されてきた築 89 年の旧農協建物をリノベーションした、宿泊やイベントができる交流施設です。そこで、宿泊や研修の利用対応、イベントの企画・補助を行っています。

また、毎週金曜日の 10:00～15:00 にはオープンデイとして施設を一般開放し、建物ガイドやスマホ・パソコン相談窓口を実施しています。



◆美又の地域資源発掘に向けたイベント開催や商品プロモーション

共存同栄ハウス周辺の美又地域を学ぶ「ローカルスタディ」を実施しました。また金城町全体の催し「さざんか祭り」において、活動紹介展示を実施しました。

また、同地域にある美又温泉の入浴剤の箱パッケージデザインにも取り組みました。



◆地域住民とのつながりづくり

美又共存同栄ハウスのある追原郷の常会への出席や、自治会行事、地域イベントへの参加を通じて、住民との交流や地域活動の支援に取り組んでいます。

去年は、地域住民と共同で、建物内・外に飾るクリスマスツリーづくりを実施しました。



今後・任期終了後の目標

美又共存同栄ハウスを中心に、美又地域、そしてそこから金城地域全体のファンの方や関係人口を増やしていきたいです。

地域の方の想いが詰まった建物を、さらに多くの方に利用していただけるよう、企画づくりや情報発信に取り組んでいきます。

浜田市地域おこし協力隊 No.13



氏 名 宮内 正勝（みやうち まさかつ）
出 身 千葉県
前住所 千葉県
前 職 会社員
委嘱日 令和 7 年 7 月 1 日（1 年目）

協力隊のミッション

- ◆サウンドファイブ夢の音会の法人化への移行支援
- ◆地域連携による都市農村交流事業の推進 等
- ◆SNS等を活用した地域振興・誘客に関する広報活動

令和 7 年度の主な活動

◆都市農村交流の推進

浜田市ツーリズム協議会とサウンドファイブ夢の音会との連携事業で、従来行われてきた民泊を活用した県外の学習塾の大型団体の受入に伴う新規の体験プログラムの造成を行いました。結果、今後は夏場に限らず 1 年を通しての誘客に大きな見通しをつけられることになりました。その他農山漁村民泊支援のパンフレットの作成を致しました。



◆SNS等を活用した地域振興・誘客に関する広報活動

従来からある森の公民館の公式HPのリニューアル作業と、インスタグラムアカウントの新設を行いました。



また、島根県初の「森の駅」公称に必要な調査に、山口県美祢市に伺いました。調査の結果「森の駅 Shimane」を公称しました。

今後・任期終了後の目標

今年度は、サウンドファイブ夢の音会を中心とした、都市農村交流の推進に役立つ誘客プランの作成と、広報活動を行いました。

来年度は、美又温泉を含めたより広域的な誘客プランの造成と広報活動を行うと共に、サウンドファイブ夢の音会の法人化への移行支援に注力をしていきたいと思ひます。

浜田市地域おこし協力隊 NO.14



氏 名 新川 大地（にいかわ だいち）
出 身 大分県
前住所 熊本県
前 職 熱波師
委嘱日 令和 7 年 8 月 15 日（1 年目）

協力隊のミッション

- ◆縁の里地域振興施設の産直市運営団体「186 はざ」との連携
- ◆隣接するカフェ、キャンプ場及びサウナ等を展開する地元企業との連携による滞在型観光の推進
- ◆新たな体験型メニュー等の開発

令和 7 年度の主な活動

◆小波の郷の運営

令和 7 年 8 月から、リニューアルした特産品販売所として、地元の野菜、地元の方が作った雑貨、浜田市の特産品を販売しております。

◆キャンプ場/テントサウナ運営

旧グラウンドゴルフ場をキャンプ場として整備し、運営を開始しました。テントサウナはまだ本格的に始めていませんが、友人や地元の方に使っていただき、テストをしている段階です。



今後・任期終了後の目標

活動を開始して約半年が経過しましたが、島根県浜田市という場所を知らない方がまだまだ多い印象です。

友人や家族、そこからの関係者を招いて、徐々に浜田市の魅力を広めていきたいと思います。

また、テントサウナ運営についても、本格的な稼働に向けて準備をしていきます。



氏 名 上野 尚也（うえの なおや）
出 身 島根県
前住所 滋賀県
前 職 半導体製造装置据付
委嘱日 令和 7 年 10 月 1 日（1 年目）

協力隊のミッション

◆旭町梨園の事業承継

令和 7 年度の主な活動

◆研修先での研修

研修先であるふるさと農園株式会社で、栽培技術を日々学んでいます。全てが初めてのことで、新鮮さと同時に驚きの毎日ですが、研修先では丁寧に教えていただき、その作業の意味を考えながら、一つ一つ取り組んでいます。



◆島根県立農林大学校への入校準備

島根県立農林大学校において、農業の全般的な知識や経営について学ぶ予定にしています。令和 7 年度は、来年度の入校に向けて、関係機関から説明を受け、入校の準備を進めました。

先日行われた入学試験で合格することができ、来年度は研修先での実地研修と合わせ、農林大学校で知識を深めていきたいと思っています。

今後・任期終了後の目標

任期中に栽培技術を習得し、就農に向けて準備を進めています。

就農地は、すでに梨栽培が行われているところであり、所有者の方からスムーズに事業承継ができるよう、話し合いと調整を重ねていきます。

浜田市地域おこし協力隊 NO.16



氏 名 酒井 基宏（さかい もとひろ）
出 身 神奈川県
前住所 神奈川県
前 職 会社員
委嘱日 令和 7 年 11 月 1 日（1 年目）

協力隊のミッション

- ◆フリーミッション型の地域おこし協力隊として、関係人口を広げるための次のミッションを企画提案し、活動を実施
- 都市圏在住の方に向けて、浜田の自然・伝統・食文化を体感できる生活体験プログラムの提供
- 上記プログラムの案内役として、地域住民と来訪者の出会い・交流の“場”づくり

令和 7 年度の主な活動

脱穀体験や猟師と猟犬と歩く夜散歩、ヨガプログラムなどの視察・実践を重ね、関係人口につながる手応えある企画を具体化してきました。

新嘗祭における都市圏在住者 13 人の受入れ、地域部会への参加、ふるさと体験村との連携協議を通じて、地域内のネットワークは着実に強まっています。

その実践の成果として、「遊ぶ広報事業」参加者をアテンドし、地域住民との交流を重ねた結果、弥栄町と千葉県の一拠点生活が正式にスタートすることになりました。これはミッション達成の事例の 1 つとなります。

さらに、Zoom による味噌づくり体験（23 人参加予定）の企画、小坂集落と連携した田んぼ運営の開始等、体験と農のフィールドを軸に、関係人口の拡大を具体的に進めています。



今後・任期終了後の目標

◆「土地そのものが奏でる自然を活かし愉しむ生活体験プログラム」構築

弥栄町の多様な人的資本を発掘・再構築し、都市圏および近隣地域を対象とした滞在型・交流型プログラムを構築します。これにより、地域理解の促進および継続的な関係人口の創出を図ります。

◆表現大学 3.0 の展開による「体験・交流・学び」機会の創出

表現大学の内容充実および運営体制の強化を図り、地域活動を担う人材育成とネットワーク形成、継続的な関係人口の増進に取り組めます。

◆弥栄食文化を継承する交流拠点の整備

「100 年後も食したい弥栄レシピ」をテーマに、弥栄の食文化や知恵を次世代へ継承する交流拠点をつくります。観光振興、世代間交流、雇用創出、交流人口から関係人口への促進を図ります。

浜田市地域おこし協力隊 NO.17



氏 名 上田 ななせ（うえだ ななせ）
出 身 愛知県
前住所 愛知県
前 職 事務・販売
委嘱日 令和7年11月5日（1年目）

協力隊のミッション

◆いわみ留学生として、次のミッションを実施

○農業現場での就労及び実践を通じて知見を蓄積し、地域農業の担い手としての貢献

○いわみ暮らし体験生の滞在満足度向上を目的としたコーディネート業務や、農業及び地域の日常をテーマとした情報発信

令和7年度の主な活動

現在は、農業現場での実務に積極的に携わり、年間を通じた作業工程等を学びながら、現場に貢献できるよう努めている最中です。

また、いわみ暮らし体験生や、地域外から農業に関わる人々に対し、生活面でのサポートや相談対応を行っています。農業に集中できる環境を整えることは、結果として農業の継続性や生産性の向上につながるため、日々のフォローを大切にしています。

さらに、SNS等を活用し、農業や地域の日常の様子を発信することで、地域農業の魅力や実情を伝えています。



今後・任期終了後の目標

農業は、生産活動のみで完結するものではなく、地域での暮らしや人とのつながりの中で成り立っていると考えます。

今後は、農業現場での経験をさらに積み重ね、信頼される存在になることとあわせて、農業に関わる人々の暮らしや関係性にも目を向けた支援の在り方を模索し、農業支援をより包括的なものとして確立していきたいと考えています。